

松本市町会デジタル化支援アプリの使用に関する契約 デモ環境の試用について（提案者向け案内）

1 試用期間

令和8年11月24日（火）～12月1日（火）

2 使用環境

審査者の所有するスマートフォン・パソコンにアプリケーション等を導入し使用する。

3 階層構造について

本市が実際に使用する際のアプリケーションの構造は以下を想定しています。事業者におかれましては、環境構築の参考にしてください。

なお、厳密にこの構造をすべて求めるものではありません。代用機能や既存機能等を含めて柔軟にご対応いただいて構いません。また、デモ環境試用期間については、特に階層を設けず全役割を体験できる構成で差し支えありません。

(1) 【第1構造】市（管理者・発信者）

ア 主なロール（役割）：システム全体管理者 / 市の各部署・連合会

イ 想定される部署：広報担当課、危機管理課、地域づくり支援課、松本市町会連合会 等

ウ デモ環境での要件：市全体、あるいは特定の地区・町会を指定して、緊急情報や避難情報、広報・回覧を一斉配信できること

(2) 【第2構造】地区（中間管理・集約）

ア 主な役割：地区単位のとりまとめ役

イ 想定される範囲：松本市内の35地区（地域づくりセンター、地区連合会）

ウ デモ環境での要件

・市からの情報を、配下の単位町会へスムーズに中継・共有できること

・地区内の情報集約・発信が行えること。

※全35地区すべてを作成する必要はなく、代表的な数地区を作成していれば構いません。

(3) 【第3構造】単位町会（実利用・管理）

ア 主なロール：町会長、役員、（一般住民）

イ 想定される範囲：各単位町会

ウ デモ環境での要件

・日常業務：電子回覧板の配信・既読確認、会議・行事の出欠管理など、町会運営に特化した機能が実際に動作すること

・防災・緊急・災害時等の安否確認機能が正常に機能すること

・管理者と住民の切り替え：町会役員（管理者ビュー）と一般住民（一般ユーザービュー）の両方の動きがテストできること

(4) 【第4構造】隣組・組等（最小単位）

ア 主なロール：組長、少人数グループのまとめ役

イ 想定される範囲：単位町会の下にある「組」や「班」などの任意の細分化グループ

ウ デモ環境での要件

・単位町会より小さな単位（隣組など）で、連絡網やグループ内の回覧・出欠管理を行いたい場合の柔軟な設定（グループ分け機能など）が確認できること

4 その他

審査者は、試用期間中に第三者にアプリの使用感について意見を求める場合がありますが、採点や評価の決定については、あくまで審査者の責任において行うものとします。